

主力製品『自鳴式万引防止機』をブラッシュアップ 最新技術とノウハウを結集して より高度なセキュリティを実現したKSM

平成16年(2004年)の設立以来、注力してきた監視カメラシステム(CCTV)の開発や海外製の製品の国内への輸入のほか、自鳴式万引防止機『MERCURY』のマーケットへの展開などで着実に業績を伸ばし続けている(株)KSM(本社・大阪市)。より安心・安全な世の中の実現に向け、日夜研究・開発に取り組んでいる。今回も『MERCURY』の新シリーズを新たにラインナップしており大きな注目を集めているが、そこで今回は営業部・堀田雅章氏に、新シリーズの概要について取材している。



堀田 雅章氏

安心で安全な世の中を 実現するべく製品の リリースで社会貢献を実現!

便利で快適な生活を送るためには、より安全で安心に暮らしていける環境が必要となる。そんな誰もが不安なく過ごせる社会を作るべく、製品の開発や輸入販売などを積極的に展開。業界内外で高い信頼を獲得しているのが(株)KSMだ。

同社の企業理念は「世の中の人々が、不安なく暮らせるために」というもの。それは開発姿勢にも如実に表れている。

「安心・安全な暮らしを実現するべく、機器の開発・提案を通して世の中に貢献したい、という思いを主眼として、設立

以来業務を推進してまいりました。幸いなことに、私どもの考えに共鳴していただいた国内外のお客様の御助力のもと、ここまで発展することができたと考えております」

同社の理念の一つとしてあげられるのが、海外の有力メーカーとの強力なリレーションシップによる高性能セキュリティ製品の輸入販売である。同社ではスウェーデンなどの欧米のほか、韓国、台湾、中国、香港などのアジアのセキュリティ企業とも積極的に連携。国外の優れた製品を日本国内に紹介するなど、我が国の安全に大きな貢献を果たしている。

特に、監視カメラ市場においては昨年末より続く円安による影響をものともせず、ニューヨーク証券取引所上場のHoneywell Security社製のカメラをはじめ、海外で圧倒的な評価を獲得している製品を続々とリリース。

「監視カメラの売り上げは依然として好調で、堅調に推移しています。今後とも、グローバルなネットワー

クの強化・拡大にまい進し、より良い製品をお客様にお届けできればと考えております」

KSMならではのノウハウを結集し 強固なセキュリティ環境を実現

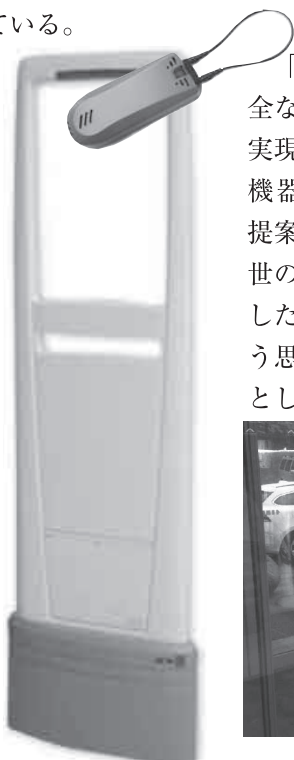
さて、監視カメラシステムと並んで同社を象徴する製品といえば、自鳴式の万引防止機である。

自鳴式のタグを用いて商品を管理するというもので、タグは『貼付タイプ』と『ループタイプ』の二種類。

水を入れてブザーを止めるなどの不正をシャットアウトできる新機構のブザー穴が搭載されており、レジで精算していない商品を外部に持ち出そうとするなどの不正通過が検知された場合には、出入口に置かれたゲートアンテナの送信電波により発報。不正に持ち出した物を放すまで警報音が鳴り続ける仕組みとなっている。

タグについては、ほかにも世界最小の薄さと軽量を実現、タグという存在を意識させないスマートなデザインを実現した『MINIタグ』、警戒が困難だった財布にもカード入れにそのまま入れることにより、不正な持ち出しを防ぐことを可能にした『カードタグ』などを用意。

また、タグのリセット機器についても、あわただしい店内作業のなかでも解除作業の効率化を実現した『ハンドリセッター』、タグ取り忘れ防止機能を搭載しており、レジでの



タグ消去を効率よく行えるようにした『リセットマット』など、スムーズな商品管理の実現に不可欠なリセット機器においても同社の技術力の高さが存分に発揮されている。

さらに、入出口で不正をシャットアウトする肝心の『ゲートアンテナ』についても、最新の技術が駆使されている。最大で片側4m、最少で1mまで送信感度を変更可能で、広範囲の間口に対応可能となっており、監視カメラシステムにリンクすることにより、アンテナが反応したときには即座にハードディスクレコーダーで映像を検知する、といったことも可能になっている。

手軽にセキュリティレベルの向上を実現 ホームセンターやブランドショップで効力を発揮

ほかにもパトライトや大型ブザーによる監視センターなどへの通報や、特定省電力機器による無線での警備室への連絡なども可能。すぐに犯人を特定できるため、同一人物に万引き行為を繰り返されるといったリスクも軽減できるため、劇的な経営環境の改善の実現が期待できる。

スペースによっては外観を損なわないよう、埋め込み式やマット式なども用意。ゲートアンテナの受信距離は最大で4m。また、新開発の技術により片側2mタグ受信も可能になっており、手軽にセキュリティレベルの向上を実現できるのも大きな特徴といえるだろう。

また、小売店舗の店頭に並べられる商品から、工場内の倉庫など大量の製品を管理するスペースにおける

管理目的として、これまで多くの企業で活用されている同製品。すでに全国的にチェーン展開を行っているホームセンターでは全店で導入が行われている。

「ブランドブティックショップやカーアクセサリーショップなど、十数万円単位の高額な商品が陳列されているスペースでは、特に盗難防止に効果を上げています」

また、活躍するスペースは国内にとどまらない。世界各国の国際空港など、面積や物流ともに巨大なエアターミナルにおける空港税関システムとしても採用されるなど、その品質の高さは折り紙つき。“世界標準のシステム”といえるだろう。

スタイリッシュなデザインはそのままに 新開発のFSK方式により高機能を実現

創業当初から主力製品としてこれだけの実績や評価を獲得していながら、いまでも機能の改善に真摯に取り組み続けている同社。

3月にはこれまでの『ASK方式』(AM電波=37.5キロMHz)に代えて、新たに新開発の『FSK方式』による周波数多重変調電波を採用。ブラッシュアップを図って新たにリリースを行っている。その理由については、「MERCURYシリーズは20年前に開発された当時のスペックに少しずつ改善を加えながら開発を続けてきましたが、それだけではお客様か



ら寄せられている要望にお応えしていくことは難しいと判断しました」

そこで、同社がこれまで培ってきた技術力やノウハウをフルにつぎ込むことで、電波方式を大胆にも一新。その結果、さらなる高機能の実現にいたったのである。

「今回の新方式の採用により、電波についても倍の距離まで飛ばすことが可能となったほか、電波自体も感知しやすくなっており、よりお客様のニーズに即した形での製品としてのご提供を実現することができました」

なお、より高機能を実現した今回の“New”MERCURYだが、製品の外観や仕様などについては従来機種から継承する、としている。

「MERCURYシリーズの人気の一つとして、高機能、高信頼性に加えてタグやゲートのデザインが洗練されており、非常にスタイリッシュであることがあげられます。

どのようなスペースでお使いいただくにしても、店舗などの景観を損なうことがないため、自然な形で設置できるのも強みとなっています」

顧客からの高い信頼や技術力に安住せず、さらに研究・開発に注力し続ける同社。新製品にも大きな注目が集まりそうだ。